

第1学年1組 国語科学習指導案

指導者 ○○○○○

1 日時・場所 2023年 11月 15日(水) 5校時 1の1教室

2 単元名 「うみの かくれんぼ ずかん」をつくろう  
 (教材名) よんで たしかめよう「うみの かくれんぼ」光村図書 1年

3 単元・教材について

【単元目標】

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力, 人間性等
(1) カ 文の中における主語と述語との関係に気づくことができる。	C(1) ア 事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えることができる。	学習課題に沿って、文章の中で大事な言葉を押さえながら粘り強く読み、分かったことを伝えようとしている。
(2) ア 事柄の順序などの情報と情報との関係について理解することができる。	C(1) ウ <b>文章の中の重要な語や文を考えて選</b> <b>び出すことができる。</b>	

【教材の特性】

「うみの かくれんぼ」では、生き物に対する興味関心を高め、自分の経験などに関連づけながら文章を読み、内容を捉える力を付けるとともに、説明的な文章を読む楽しさを味わえる教材である。そのためには、初めて知ったことや驚いたことといった**内容面**における感想と、事柄の順序に沿って説明するといった**文章構成面**における感想の両面から話し合うことで、読書の幅を広げたり、自分の書いた説明の仕方を工夫したりすることへとつなげていきたい。最後に「くちばし」で学習したように、自分だけの図鑑を作る。そして校外学習で行く「新江ノ島水族館」に図鑑を持っていき、実際にかくれんぼしている海の生き物を見て、楽しんで活動を終わるようにしていきたい。

【単元計画】(全10時間)

	主な学習活動 代表的な子どもの姿(・)	評価規準
第 一 次 ( 1 、 2)	①海の生き物について知っていることを紹介し合ったり、映像や本の中から隠れている生き物を見つけたりする。 ・ニモは、珊瑚の中に隠れているよ。 ・いかは墨を吐いて相手を見えなくするんだ。 ・もっと詳しく調べてみたいな。 ・また、図鑑作りたいね。 ②教師のモデルを見聞きし、学習の見通しをもち、学習課題を設定し、学習計画を立てる。	・自分の経験や知識と結びつけて、見通しをもって学習に取り組もうとしている。【態】観察・発言
	学習課題：かくれんぼカードをつくって、ともだちにつたえ、ずかんをつくろう。	

<p>第二次 (3~6)</p>	<p>③「うみの かくれんぼ」を読み、問いの文と答えの文を見つけ、文章の構成をつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・といの文を見つけたよ。</li> <li>・こたえの文も見つけたよ。</li> <li>・はまぐり、たこ、もくずしよいが、でてきた。</li> </ul> <p>④⑤⑥「はまぐり」「たこ」「もくずしよい」の事例を読み、隠れている場所・体の特徴・隠れ方をつかみワークシートを活用し、カードを作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろなかくれかたがあるんだ。</li> <li>・にげられないんだ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主語と述語の関係に注意して読んでいる。</li> <li>・3例とも同じ構成で、同じ説明の順序であることを捉えている。 【知識】 発言・記述</li> <li>・事柄の順序に気をつけて読み、生き物毎の隠れ方を捉えている。 【思考C】 発言・記述</li> </ul>
<p>第二次 (7~10)</p>	<p>⑦⑧書籍などから自分が紹介したい海の生き物を決め、伝えよう。</p> <p>⑨「かくれんぼカード」で「うみの かくれんぼ」の紹介をして、みんなで楽しもう。</p> <p>⑩図鑑を作り上げ学習について振り返る。(校外学習「新江ノ島水族館」で楽しもう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図鑑等の書籍や動画等を、事柄の順序を捉えて読んだり見たりして、自分が紹介したい海の生き物について、読み取ったことをカードに書いて説明している。 【思考C】 観察・記述</li> <li>・他者の発表に興味をもち更に興味や関心を広げている。 【態度】 観察</li> </ul>

#### 4 児童の実態と《目指す児童の姿》に迫るための手立て

##### 【児童の実態】

- 話したいという思いはある。
- 伝えたいこと・表現したいことはたくさんある。
- 書籍を読むことが好きな児童が多い。
- 友だちと関わって活動することが好きな児童が多い。

- 他者の考えを聞くときに、どうするのが分からないことが多い。
- 伝えたいことをどのようにしたらよいか、分からないことが多い。
- グループ活動で何をしたらいいのかわからない児童もいる。



《目指す児童の姿》(低学年ブロック)

安心して、話したり聞いたりして楽しんで活動する児童



【目指す児童の姿に迫るための手立て】

①画像や書籍から、子どもたち自身が「もっと海の生き物のかくれんぼを知りたい。」「調べたことを伝えたい。」「自分だけの素敵な図鑑を作りたい。」というような“考える必然性”のある学習問題を作り、その解決を図るようにする。

(教師の関わり) (考える必然性)

②伝えるときに必要なキーワードを色分けなどの視覚支援をし、教科書から抜き出したり動作化をしたりして生活経験とつなげる。さらに、関連した言葉も挙げながら大事な言葉に気づくと共に、言葉の宝箱を増やしていけるようにする。

(考えの根拠の明確化)

③児童が調べて作った「カード」で、伝えたいことを紹介し共有化を図る。説明文の文章の順序(「問い」→「答え」)が分かるようにする。

(考えの共有化・考えの相違の自覚化)

④活動の中で、グループワークを取り入れ、自分の考えを伝えたり、ほかの人の考えを聞いたりしながら、自分の考えをもてるようにする。

(考えの共有化・考えの相違の自覚化)



研究テーマ  
学び合い、高め合う子どもの育成  
～子ども主体の授業をめざして～

5 本時について (8 / 10 時間)

【本時目標】

自分が紹介したい海の生き物の隠れ方について、大事な言葉を見つけて伝えることができる。

【本時展開】

学習のめあてと活動 教師の関わり (○)、子どもの姿 (・)	支援・留意点 (・) 評価 (○)【評価項目】 / 方法
① 本時の学習のめあて (学習課題) を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習が始まる前に、海のかくれんぼ動画や書籍をたくさん見て、興味関心を抱けるようにする。</li> <li>・「うみの かくれんぼ」図鑑の見本を提示し、学習のめあてが分かるようにする。</li> </ul>
○「うみの かくれんぼ」について、かくれるためにだいじなことばを見つけてつたえよう。	
② 前時までのワークシートを確認して、自分が「カード」にして伝えたい海の生き物を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時までの学習内容を見て、本時のめあてを各自が確認できるようにする。</li> </ul>

<p>③ 「うみの かくれんぼ」図鑑の書く内容・順序を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なに（名前）：青</li> <li>・どこに（場所）：赤</li> <li>・なにをもっているか、なにができるか（体の特徴）：黒</li> <li>・どのようにかくれる・へんしんするか（隠れ方）：黄</li> </ul> <p>○もぐって隠れる …コバンザメ A・B</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「かくしたまま」の言葉があった。特徴は、なんだろう。</li> </ul> <p>○色を変えて隠れる…ひらめ A・B</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「かくれる」がないね。「そっくり」があった。</li> </ul> <p>○形を変えて隠れる…タコノマクラ A・B</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「かくします」があった。特徴は、「とげ」かな。</li> </ul> <p>④書き終えた文章を読み返し、内容を確認し、誤字脱字などがないかを確認する。</p> <p>⑤本時のまとめをして、次時の確認をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料の中から伝えたい内容を選び、大事な言葉を見つけられるようにする。そのために、</li> <li>*ワークシートの中を色分けし、どこにどの内容を書くのか分かるように視覚支援をする。</li> <li>*クロームブックを活用し、書き換え選び換えしやすいようにする。</li> <li>【思 C】書物を事柄の順序を捉えて読み、読み取ったことを伝えている。[観察・マーカー・記述・発言]</li> <li>*同じカテゴリーに入る言葉集めをして掲示し、どのような言葉を探せばいいか分かるようにする。☆（下記）</li> </ul> <p>・内容が、正しく書けているグループに発表するよう声を掛け、次時の活動に意欲がもてるようにする。</p>
---	---

☆中学年になってから「3ステップ法」ができるように、順序を意識して書けるようにする。

\*3ステップ法・・・①図書資料のコピーに、要約に必要な内容を色分けして印を付ける。

②それらを書き抜く。

③指定された字数で書き換える。

- ・なに（名前）
- ・どこに（場所）
- ・なにをもっているか、なにができるか（体の特徴）
- ・どのようにかくれる・へんしんするか（動き）

#### 支援方法

○同じ生き物を伝える児童が、グループ間で話し合いながら活動できるように、グループ編成を指導者サイドで工夫をする。

○一斉指導して一人で活動をした後グループ活動に入るが、個別に再度指導が必要な児童には、指導者がワークシートなどを再確認したり、ヒントコーナーを参照したりしながらグループ内の児童と関わりながら気づけるようにする。

○ヒントが必要なグループや見直しが終わったグループは、掲示物のヒントコーナー・チェックコーナーで見たり再度確認をしたりできるようにする。

【研究協議のまとめ】

【次回につなげたいこと】